

入学おめでとう！新学期おめでとう！

本校 HP「御幸のし・あ・わ・せ (R6)」
随時更新中！



119人の^{にん しんいちねんせい みな}新一年生の皆さん、^{にゅうがく}入学おめでとうございます。そして、^{しん ねんせい ふく}新1年生を含めた^{にん みゆきしょうがっこう じどう みな}660人の御幸小学校の児童の皆さん、^{しんがつき むか}新学期を迎えることができ、おめでとう！

^{にゅうがくしき こうちょうしきじ しん ねんせい つた}入学式の校長式辞で^{がっ しゅうりょうしき ねんせい}新1年生に伝えたこと、^{ねんせい みな つた}3月の修了式で^{しる}2年生から^{みな いのち}5年生までの皆さんに伝えたことをここに記します。皆さんの命を守る^{まも}ことなので^わしっかり分かるようにしてください。

「^{がっこう く かえ}学校に来るとき、帰るとき、^{どうろ とお}道路を通ります。道路には^{どうろ ある ひと}歩く人だけでなく、^{くるま じてんしゃ とお}たくさんの車、バイク、自転車が通ります。入学式の来賓の方々^{おお しごと つづ}の多くはお仕事を続けながらも、^{みな ある た}皆さんが歩くところに^{おうだんばた}立たれ、横断旗を^ふ振ったり、^{ひか ふく き}光る服を着たりして、^{くるま じてんしゃ ひと はや}車、バイク、自転車の人に^{みな}早く皆さんに^{きづ}気付かせ、^{みな まも}皆さんを守っていらっしゃいます。本当に^{ほんとう}ありがたいですね。ただ、^{みな ひと まも}皆さんは、人から守ってもらっただけでなく、自分のことは自分でも

守れるようにしてください。特に、^{とく どうろ わた}道路を渡るとき、^{おうだんほどう はし}横断歩道の端っこで、^{みぎみ ひだりみ}「右見て左見て、そしてもう一度右を見て」、^{いちどみぎ み}車、バイク、自転車の人^{くるま じてんしゃ ひと}の目を^めしっかり見て、^{み て あ}手を上げ、^{ひと む}その人に向かって、^{ひと きづ}その人が気付くまでしっかりと手を振って、車、バイク、自転車を止めましょう。ちゃんと^と止まったのを見届けてから、横断歩道を渡るようにしましょう。」

^{うえ ないよう}上の内容については、^{さくねん がっ みゆきこうく すま}昨年の6月に御幸校区にお住いの、^{みゆきしょうがっこう}御幸小学校^{もとほごしゃ}の元保護者であった方が、^{かた くまもとにちにちしんぶん どくしゃ らん とうこう}熊本日日新聞の読者の欄に投稿されていたのを^{さんこう}参考にしています。^{りめん いんさつ}裏面に印刷しておきますので、^{ひつよう おう}必要に応じて^よ読んでみてください。

保護者の皆様へ 令和6年度がスタートしました。子どもたちが日々の学びで明るく
なっていけるよう、職員一同、日々一丸となって取り組んでいきます。ご理解とご
協力をよろしく願いいたします。(裏面に「熊日読者の欄」の記事を掲載します。)

手を上げ横断 大人が実践を

—主婦

(熊本市)

毎朝散歩する中、徒歩や自転車で登校する小中学生の姿を見て、交通安全への関心が強くなりました。

散歩コースにある4カ所の横断歩道には信号機がありません。渡るうとしていても車が止まってくれないことが多々あり

ます。

テレビニュースでは、歩行者が横断歩道を渡るために待っていても、止まる車は2割ほどしかないと伝えていました。ただ、手を上げて渡りたい意思を示すと、7割を超える車が停車してくれるといいます。大人が手を上げて横断歩道を渡る姿を示し、子どもたちの手本になるべきだとのことでした。それで私は手を上げて渡るようになりま

した。

ある時、1人の女の子が横断歩道を渡るために何台もの車の通過を待ち続けていました。「手を上げると止まってくれるよ」と声をかけると、女の子はさっと手を上げました。すぐに車が止まり、女の子を渡らせてくれました。女の子はにこにこしながら頭を下げて渡って行きました。

その後は毎朝、その女の子が横断歩道で手を上げ、停車を促して渡るのを見かけるようになりました。一つの成長を見たように感じました。多くの大人が実践して見せることが大切だと思います。